

宇部市新庁舎1期棟新築工事総合評価審査委員会による技術提案審査結果の概要【機械】

令和元年7月8日

評価項目	31	32	33	34	35	36	評価の理由	
提案項目	①-(1)-【1】	B 1	A 1.5	B 1	B 1	B 1	C 0.5	32は、大型機器搬入日の限定やコミュニケーションボード設置による安全確保の提案が評価され、A評価となった。 31、33、34、35の4者は、それぞれ一定の評価をされた項目もあったが、提案内容や提案数を相対的にみて、B評価となった。 36は、実施要領の趣旨に添わない通行ルートの提案や作業開始時間が施工条件書に示す時間から逸脱している提案がマイナス要素となり、C評価となった。
	①-(1)-【2】	B 1	A 1.5	B 1	A 1.5	B 1	B 1	32は、車両台数削減対策や騒音対策の提案が評価され、A評価となった。 34は、標準的な内容だが提案数が多く、提案内容が具体的に記述されていることから、個々の効果は小さくともトータルの効果は大きいと判断され、A評価となった。 31、33、35、36の4者については、標準的な提案内容であったことや提案数から、相対的にみて、B評価となった。
	①-(2)	B 6	A 9	S 12	B 6	S 12	A 9	33は、ZEB専門部署による現場支援やAIの活用による省エネ化、配管の熱損失対策と全ての提案が高く評価され、S評価となった。 35は、市庁舎のZEB化に搬送動力の削減が大きく寄与することを理解した上で、搬送動力削減に関する具体的な複数の提案があったことが高く評価された。この中で、免震ピットを活用する提案については、計画通知の変更を伴う内容であるため評価対象とはならなかったが、それを差引いても、その他の実現性のある搬送動力削減対策や省エネを重視しながら温熱環境を犠牲にしないための工夫が特に優れていると判断され、S評価となった。 32、36についても、搬送動力削減の重要性を踏まえた提案や効率的な維持管理に資する提案が評価されたが、提案内容の具体性により、相対的にみて、A評価となった。 31は、ZEB対応組織の設置やシミュレーションに関する提案、34は3DCADの活用やシミュレーションに関する提案が、それぞれ一定の評価をされたが、ZEB全体に対する効果が小さく、メンテナンスやコストが新たに必要となる技術を前面に提案していたため、高評価にはつながらず、B評価となった。
	②-【1】	6	6	6	6	6	6	6者ともJV構成員(市内業者)の合計出資比率が40%以上、請負代金相当額に占める市内業者活用額の割合14%以上であり、6点(満点)の評価となった。
	②-【2】	B 1	B 1	B 1	A 1.5	B 1	B 1	6者とも標準的な内容との評価であったが、34については、具体的な金額の提示があること及び項目数が他者と比較して多かった点が考慮されA評価となり、その他の5者はB評価となった。
基礎項目	①	1	3	1	0	3	2	免震構造の施工実績について、32及び35は、述べ面積15,000㎡以上の庁舎新築工事の実績があり、3点(満点)の評価となった。 36は、延べ面積8,000㎡以上の庁舎新築工事の実績があり、2点となった。 31及び33は、延べ面積15,000㎡以上の事務所等の新築工事の実績があり、1点となった。 34は、加点対象となる工事の実績がなかったため、0点となった。
	②	0	0.5	0	0	0.5	0	監理技術者の実績について、32と35の2者は、延べ面積8,000㎡以上の事務所等の新築工事の施工経験があったため、0.5点の評価となった。 他の4者は、加点対象となる工事の施工経験がなかったことから、0点となった。
合計(加算点)	16.0	22.5	22.0	16.0	24.5	19.5	配点が高いZEB Ready庁舎実現の工夫に係る提案(①-(2))の評価点と、実績を評価した基礎項目の評価点の結果が最終的な順位に大きく影響する結果となった。  35は、市庁舎のZEB化に搬送動力の削減が大きく寄与することを理解し、搬送動力削減に関する具体的な複数の提案があったことや省エネを重視しながら温熱環境を犠牲にしないための工夫が高く評価されたことに加え、施工実績で加算点を得たことから、1位の評価となった。 32は、ZEBに関する提案で、搬送動力削減に関する提案が評価され、基礎項目でも、企業・配置技術者ともに実績があり、高得点を獲得したことから、2位の評価となった。 33は、ZEBに関する提案で、専門部署による現場支援やAI活用等の提案が、高く評価されたが、基礎項目での加算点が少なく、3位の評価となった。 36は、ZEBに関する提案では、搬送動力削減の重要性を踏まえた提案等が評価されたが、安全確保・利便性向上に資する提案(①-(1)-【1】)で実施要領や施工条件書の趣旨に添わない提案があったこと等が影響し、4位の評価となった。 31及び34は、ZEBに関する提案で、シミュレーションや組織体制、3DCADに関する提案が一定の評価を受けたが、効果が小さく、メンテナンスやコストが新たに必要となる提案であったことと、基礎項目の加算点が得られなかったことにより、5位(同点)の評価となった。	